

令和3年度 琉球大学 首里城再興研究プロジェクト公募要領

1. 本プロジェクトの目的及び応募対象

琉球大学は令和2年に首里城再興学術ネットワークを立ち上げ、ネットワーク設立に関する学長答申に基づき研究プロジェクトの推進及びシンポジウム等による情報発信等を行ってきた。

また、令和3年2月に沖縄県が公表した「首里城復興基本計画」(素案)では、首里城の復元はもとより首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の復興に取り組むという基本理念のもと、計画の着実な推進に向けて首里城再興学術ネットワークと連携することが示されている。

そこで、令和3年度の本研究プロジェクトは、首里城の復興及び基層である沖縄の歴史・文化の再認識に資する研究を推進することを目的とし、首里城及び周辺文化財の復元、琉球の歴史・文化、複層的な首里歴史まちづくり、教育プログラムの開発等、幅広い分野での研究を対象に公募する。(研究課題の例については別紙参照のこと。)

2. 研究期間

採択決定～令和4年3月31日

3. 申請資格者

本学の教員とする。

また、本学が定める研究者倫理・研究費公正執行教育を受講すること。

4. 申請要件

研究成果が首里城の復興及び基層である沖縄の歴史文化の再認識にどのように関連するのかを提示すること。

5. 申請方法

実施計画書(別紙様式1)に必要事項を記載し、必ず各部局等でとりまとめの上、令和3年5月14日(金)17:00(期限厳守)までに、別添申請一覧を付して総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係にメールで提出すること。

【メールアドレス srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp】

※別紙様式は研究推進課 HP (ニュース・トピックス欄) からダウンロード可能。

(URL: <https://gspd.skr.u-ryukyu.ac.jp/gakusaibu/kenkyu/>)

※研究者個人からの直接申請は受理しない。

6. 配分規模

1件につき100万円を上限とする。(3件程度採択予定)

7. 審査基準と選考

次の点に着目し、研究推進機構長が指名する者で構成する審査委員会において、別途定める評価基準に基づき、書面審査及びプレゼンテーションにより選考する。選考結果について、研究推進会議及び役員会の議を経て、学長が採否及び配分額を決定する。

(1) 応募対象としての適合性

- (2) 研究目的を達成するための計画性及び手法の妥当性
- (3) 経費の妥当性
- (4) 研究成果と本研究プロジェクトの目的（首里城の復興及び基層である沖縄の歴史文化の再認識）との関連性
- (5) 事業遂行能力（過去の外部資金獲得実績や研究業績等）
- (6) プロジェクト終了後の計画（どのように発展、活用するのか）

8. 採択結果の公表

採択されたプロジェクト名、研究代表者の氏名及び職名、配分額の一覧をホームページ等で公表する。

9. 成果報告

- ・プロジェクト終了後、1ヶ月以内に経費執行報告書（別紙様式2）、成果報告書（別紙様式3）を提出すること。
- ・首里城再興学術ネットワークによるシンポジウム等において、年度中又は年度終了後、研究発表を行っていただく場合がある。

※提出先は、総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係とする。

※成果報告書については、ホームページ等で公表する。

※成果報告書に記載した成果は、毎年度文科省に提出する中期計画年度報告にかかる「業務の実績に関する報告書」においても報告すること。

10. その他

「首里城再興学術ネットワーク」の活動に協力すること。

これまでの活動については、首里城再興学術ネットワーク HP を参照のこと。

https://res.skr.u-ryukyu.ac.jp/shurijo_project.html

<申請書提出・問い合わせ先> 総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係 仲座 TEL : 8932 FAX : 8185 e-mail : srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp
--

本プロジェクトが想定する研究課題の例

- **首里城正殿の復元**
 - ✓ 建築材料・技術・資源等に関する研究

- **周辺文化財の復元**
 - ✓ 歴史に関する研究
 - ✓ 建築材料・技術に関する研究

- **文化財の防災や安全対策**
 - ✓ 文化財の防災に関する研究

- **保存科学**
 - ✓ 火災で劣化した美術工芸品の修復・保存技術に関する研究
 - ✓ 人材育成プログラムの開発

- **琉球の歴史と文化**
 - ✓ 首里城に象徴される琉球の歴史・文化に関する研究
 - ✓ 琉球王府と地方の産業、文化、暮らし、宗教・祭り、言語等に関する研究

- **戦争遺構**
 - ✓ 32軍壕及び周辺の戦争遺構とその保存・活用に関する調査研究

- **複層的な首里歴史まちづくり**
 - ✓ 交通渋滞の緩和に関する研究
 - ✓ 首里と周辺地域の観光及び歴史・文化と一体となったまちづくりに関する研究

- **教育プログラムの開発**
 - ✓ 体系的な学習教育プログラムの開発
 - ✓ 平和学習プログラムの開発

- **デジタルミュージアム構想**
 - ✓ 国内外に収蔵されている琉球の美術工芸品、公文書、記録等の調査研究
 - ✓ 上記のデジタルアーカイブ化に関する研究

- **首里城復元や琉球文化への興味関心の喚起と維持**
 - ✓ 琉球の歴史・文化を体感できる新技術（VR等）を活用したコンテンツの開発
 - ✓ 国内外に向けた波及効果の高い情報発信方法の開発